

もうすぐ戦前の治安維持法が復活します。(2)

もちろん、この法律を提出した政府の言い分やこの法律に賛成している人たちの意見もしっかり聞いておくべきでしょう。「共謀罪」に関するいろいろな意見を聞いて、最終的にこの法律が良いか悪いか判断するのはあなた自身だからです。

でもどうやってこの法律に関する知識を得たらよいのでしょうか。テレビや新聞はなぜか、驚くほどこの法律に対して無関心を装っています。インターネット上では、この法律の成立に危機感を持って、反対の意見を必死に送っている人々が数多くいるのですが、悔しいかなマスコミが報道しない現状では世間一般にはほとんど知られていません。

1 日中馬鹿笑いと過剰な露出を垂れ流している腐りきったテレビ



は、「共謀罪」の国会審議が始まったにもかかわらず、ホリエモンの保釈の中継にヘリコプターまで使ってお祭り騒ぎをしたり、事件の本質とは何の関係もないのに、逮捕され



た元建築士の頭髪を茶化したりすることばかりに終始しています。テレビ局側にいわせると、その方が視聴率をとれるからでしょう。視聴者もなめられきったものです。（きっと、テレビをただらと見続けていると、狂牛病と同じように脳がスポンジのように穴だらけになって、廃人になってしまうのかもしれない。）



連休前には拉致被害者家族の米国訪問がマスコミの主要な関心事となっていましたが、もし将来タカ派の政治家が首相になって、北朝鮮から拉致被害者を奪還するために、北朝鮮と戦争を始めると宣言したとき、戦争に反対する人たちはこの法律を根拠に一網打尽にされるだろうと警告する意見もインターネット上にはあります。

この連休明けにも政府・与党は、昨年の総選挙の結果得られた絶対多数を背景に「共謀罪」の国会審議を打ち切り、かつて何度も廃案になったこの法律を可決成立させるつもりです。もう一刻の猶予もありません。みなさん、どうかこの「共謀罪」という法律に目を向けてください。関心を持ってください。墮落しきったテレビをみても、何も教えてくれません。一時も早くテレビのスイッチを切って、インターネットで「共謀罪」を調べてみてください。インターネットのできない人は、できる人に調べてもらってください。そして自分で、自分の頭で考え、「共謀罪」のことをまわりの人々に伝えてください！

戦前と同じ道をこの国は今また歩もうとしています。